



開館カレンダーはこちら

保健室には魔女が必要

著：石川 宏千花

主人公は、中学校の保健室の先生にして魔女。生徒たちの悩みを聞き、それを解決する「おまじない」を授ける。思春期の悩みによりそう短編集。



くるっとだーれ？

作：かしわら あきお



「ぶーぶー、おでかけ。わたしはだーれ？」くるっとまわすとちがうものにへんしんしたね。なぜなぜとだましえがたのしい、まえからもうしろからもよめるえほん。

問 中央図書館 (パフィオうわじま内)
☎22 - 1065

問 簡野道明記念吉田町図書館
☎52 - 3169

98歳まで生きてわかった、「超ポジティブ思考」がいちばん！

著：宇野 千代

死ぬ瞬間まで「楽しいことだけ」を考えて暮らす方法が満載。

問 中央図書館 津島分館
☎32 - 2725



からたち句会

かな句会

文芸のひろば

薔薇を褒め秤とり出す魚売女	山暮らし夕餉の一杯初鯉	鯉轍昔の景色今はなき	潮風に咲けよ薫れよ花みかん	心の帆こころのしるべ桐の花	緑さす木版画家の工具箱	バラ園の花の数だけ愛生まる	三方に山ある暮らし時鳥 <small>はししきす</small>	袋掛け海に夕陽の落ちるまで	青嶺背に石の魚の空に浮き	母の日やもんぺ姿の母の夢	花桐や香気高き尼の寺	楠新樹夫との心通ふ朝	望郷や伊予の宇和島花みかん	ハーブ湯の青に浸りて五月来る	鬼あざみ棘ある人もちよつと好き	魂よせに似て螢 <small>ほたる</small> のとぶ日かな	はなやげる空の渚や桐の花	地下足袋を乾せば卯月の風平ら	電話帳さがす閑あり花菖蒲	想い出を手繰よす日々花蜜柑	ゆふまぐれ洗ひて納む遍路杖	麦秋や遠嶺に風車連なりて	五月晴おんころころと水音して	麦秋の風を纏ひし俵 <small>わたらい</small> よ	さくらんぼふふみて笑ふおちよぼ口	ほうたるを追うて人の世見失ふ
吉田 欽一	本田 八千代	福川 亀美	浜田 京子	二宮 洋子	新森 しの	土山 吐舟	田中 松江	清家 幸子	清家 矢須子	水谷 ハルミ	芝元 孝子	重村 眞子	佐々木 ヨシ子	神山 ゆき子	神代 凉子	児玉 隆子	加賀城 燕雀	大谷 重弘	槐 なぎさ	稲田 ひふみ	秋保 櫻子	青野 ひろ美	川崎 敬子	片桐 八重子	岡田 千恵子	福島 厚子

